

ひらつか

リズムに乗って123

「マットをまたぐのは難しい!」
「もっと脚を開いて頑張って!」
まちづくり財団が開く親子エア
ロビクス教室に参加した、阿閉恭
子さん(奥)、仁心ちゃん(中)、和
心ちゃん親子から、はじけるよう
な笑い声が上がります。平塚市は
スポーツが身近で楽しめるまち。
皆さんも気軽にスポーツライフを
始めませんか。



目次

- 1~3面…**特集** 楽しく体を動かそう…スポーツを楽しむきっかけづくりを目的に開く、スポーツフェスティバルの特徴などを紹介します。
- 4~7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ「はじめよう!生きがいと健康づくり」
- 8面…ヒラツカルチャー「MOTTO図書館」

平塚市の人口と世帯数

<平成30年2月1日現在()内は前月比>

人 口 258,189人…(-192)
世帯数 110,097世帯…(-43)



楽しく体を動かそう

最近、体を動かしていますか。始めてみたいけれど、「きっかけが無い」「仲間がいないと続かない」、そんなふうになっている人もいるかもしれません。平塚はスポーツを始めるきっかけが身近にあるまち。一步踏み出してみませんか。

問 まちづくり財団スポーツ事業課 ☎35-0102

延べ人数1万2840人

開催教室35講座。これは平成29年度に、まちづくり財団が開いたスポーツ教室の参加者と教室の数です。子どもから大人まで、初心者から経験者まで、幅広い層を対象にさまざまな教室を開いています。親子で参加する人、友人同士で参加する人、1人で参加して仲間を作る人、きっかけは人それぞれですが、共通しているのはスポーツを楽しみたいという気持ちです。

もっと気軽に体験を

「スポーツの体験がもっと気軽にできる機会、それが今年で5回目を迎える、ひらつか市民スポーツフェスティバルです」と力を込める、まちづくり財団スポーツ事業課の柏木尚夫課長。同フェスティバルは、市内五つのスポーツ団体と同財団が組織する「ひらつか市民スポーツフェスティバル実行委員会」が主催しています。

体験できる競技は30以上。市内のスポーツ団体の会員が講師を務めます。「興味が湧いた競技があれば、ぜひ続けてみてください。普段スポーツをしない方にもこの機会をぜひ利用してほしいですね。年々充実するフェスティバルを多くの人に楽しんでもらいたいです」と期待を込めます。

受講者を募集中

まちづくり財団が開く4月開講の全25教室の受講者を募集します。春からスポーツを始めませんか。詳しくは6面に。

平塚らしさを種目に取り入れ

「平塚といえば七夕のまち。関係者がユニホームとして着用しているアロハシャツを使った競技ができないかと考えていたんです」と話す、まちづくり財団総務施設課の小玉清貴さん。小玉さんら同財団の職員が中心になり、「ギネス・平塚記録に挑戦」という種目を新たに考案しました。平塚独自の記録を作るこの種目を、今回のスポーツフェスティバルで初披露します。

市民に親しまれる競技にしたい

「これまでもスポーツフェスティバルでは、ギネス世界

記録に挑戦するコーナーがありました。取り組みやすさやなじみ深さなどを考慮して、絞り込みました。「フェスティバルだけではなく、市内で開かれる運動会や地区レクリエーションなどのイベントで活用してもらえらるように、地域に根付かせたいです」と願う小玉さん。「市の文化・スポーツ・歴史を、改めて感じてもらうきっかけになればいいですね」と笑顔を見せます。

まちの魅力を発見してほしい

全部で三つの種目(左下開み)は、七夕まつりや湘南ベールマール、東海道の平塚宿などからヒントを得ました。10種目以上を考案したと話す小



「親しみやすい競技を考えました」と競技のリハーサル中の小玉さん(左)は話します

ギネス・平塚記録に挑戦しませんか

1位の方には認定書を差し上げます。

3月25日(日)①午前10時50分②正午③午後1時15分。総合公園野外ステージ。市内在住・在勤・在学の方。抽選。①は3人一組を10組②③は各10人。

①湘南ダンゴールサッカーパスチャレンジ 3人一組で1分間のパスの回数を競います。

②湘南ひらつか七夕アロハハンドリーチャレンジ(上写真) 洗濯籠に入った3着のアロハ

シャツを物干し竿に干すタイムを競います。

③東海道平塚宿飛脚ステップチャレンジ 1分間に踏み台を往復した回数を競います。

募 ①～③から希望する種目、全員の**必要事項**、在住・在勤・在学の区分を、はがきで、または〒254-0045見附町31-10まちづくり財団スポーツ事業課 ☎35-0102 FAX35-3332のウェブにある申込書を、郵送・ファクスで、3月9日(金)までに、同課へ。

充実のパラスポーツ教室

今回、四つのパラリンピック競技種目が体験できます(会場は3面左上②の第1体育室)。教室に参加して、パラスポーツへの理解を深め、楽しさを実感しませんか。

体験しなければ味わえない楽しさ

大きな掛け声とボールの弾む音、そして車いすのブレーキをかける「ギュッ」という音が響くコート。県内で活動する車いすバスケットボールチーム、湘南スポーツクラブのメンバーが練習をしています。

車いすバスケットボールは、一部を除いて一般のバスケットボールと条件は同じです。「コートの広さやボール、リングの高さも同じです。低い位置から座ってシュートを放つので、初めての人はなかなかリングに届かないんですよ」と話す、同クラブの代表、松井昭二さん。車いすバスケットボール暦38年の松井さんは、10人のメンバーと、競技を知ってもらうために福祉学習の一環としての体験教室や講演を小・中学校などで開いています。アルミやチタンなど丈夫で軽い素材で作られた車いすは、タイヤを回すと軽やかにスピードに乗り、風を切る爽快感が味わえます。

「体験してみないと分からないことがたくさんあります。一般のバスケットボールとは違う楽しさを、車いすを操作しながらボールを追って、感じてほしいです」と呼び掛けます。



メンバーと一緒にコートを走る松井さん(左)

1 テニスコート

前 テニス初心者体験教室 後 初心者・経験者ソフトテニス体験教室

2 トッケイセキュリティ平塚総合体育館

第1体育室

前 小学生バレーボール体験教室・囲碁ボール体験教室 後 パラスポーツ体験教室 車いすバスケットボール(2面下囲み)・ボッチャ(右写真)・シッティングバレーボール・5人制サッカーの四つのパラリンピック競技種目が体験できます。5人制サッカーは、アイマスクをして、掛け声やボールの音を頼りにプレーする競技です。

第2体育室

前 キッズ・ジュニアバスケットボール体験教室 後 初級・中級バドミントン教室

第3体育室

前 卓球体験教室 後 太極拳体験教室

A会議室

前 新体操体験教室 後 民踊(右写真)・フォークダンス体験教室



会場案内

ひらつか市民スポーツフェスティバル

園内のさまざまな会場で体験教室を開きます。スポーツ三昧の一日を過ごしませんか。

問 まちづくり財団スポーツ事業課 ☎35-0102

3月25日(日)開催

前 は午前10時～正午 後 は午後1時～3時

第1武道場

前 ひらつかドリームスポーツ教室 リオデジャネイロ五輪の柔道銅メダリスト高藤直寿^{なかとらなおし}さん、ロンドン五輪の柔道銀メダリスト中矢力^{なかつりき}さんが柔道教室を開きます。募集は締め切りましたが、見学はできます。

第2武道場

前 剣道体験教室・空手体験教室 後 わくわくなぎなた体験教室

弓道場

前 後 わくわくドキドキ！ 弓道体験教室(左下写真)



温水プール

前 競泳スタート体験教室

ラウンジ

前 後 スポーツ写真コンクールinひらつか入賞作品展示会

3 ShonanBMWスタジアム平塚

前 小・中学生中心の陸上体験教室 後 小学生・女子対象サッカー体験教室

4 バッティングパレス

相石スタジアムひらつか

前 ソフトボール体験教室 後 野球体験(審判)教室

5 中央大池とその周辺

前 ヨット乗艇体験教室(右上写真左)・湘南サイクルフェスティバル(体験教



室)・ショートテニス体験教室・バウンドテニス体験教室 後 ヨット乗艇体験教室・ショートテニス体験教室

6 平塚のはらっぱ

前 後 小学生スポーツクライミング体験教室(上写真右)、「ギネス・平塚記録に挑戦」体験など

7 野外ステージ

午前9時45分ダンベル体操、10時20分ジュニアフラダンス発表会、10時50分ギネス・平塚記録に挑戦(2面中段囲み)、午後0時45分市優秀選手紹介・模範演技など

クレヨンラリー

教室に参加しながら、会場を巡りませんか。参加者には記念品があります。用紙は6平塚のはらっぱや各体験教室の受付などで配ります。

笑顔の瞬間を記録する

スポーツを楽しんでいる瞬間の写真コンクールの受賞作品の展示や、高校生カメラマンによる会場の撮影をします。

きらめくスポーツ写真を表彰

「今まであまり賞に縁がなかったので、うれしいです」と話す苧田浩一^{おぐたこういち}さん(左写真)。ひらつか市民スポーツフェスティバル実行委員会が開いた本年度のスポーツ写真コンクールで、最優秀賞を受賞しました。同コンクールへの参加は今回が2回目。応募することを意識して撮影したという苧田さんは、「スポーツの楽しさを伝える、という狙いどおりになってよかった」とほほ笑みます。

苧田さんの写真歴は50年以上。スポーツ写真の難しさを「動きが速いので瞬間をとらえるのに苦労します」と話します。「私の子どもの頃は、日常

の遊びがスポーツでした。子どもたちには、とにかくいろいろな体験をして、好きなスポーツを見つけ、楽しんで体を動かしてほしいですね」と語り掛けます。

受賞作品は会場(上囲み2)のラウンジで展示します。ぜひご覧ください。

皆さんの楽しんでいる瞬間を撮影します



高校生ボランティアも活躍

「会場にいる人、特に子どもたちの笑顔が印象的でした」と昨年を振り返る、平塚学園高校(高浜台31-19)の写真部部长、増田彩希^{あざき}さん(前列左から2人目)。同部は、昨年からはスポーツフェスティバルに記録班として参加し、今年も全部員18人が会場で撮影を担当します。「スポーツの楽しさが伝わる写真を撮りたいです」と意気込みます。